



山中に分け入り、木々の間を通り抜ける回峰行



大本堂での千巻経



有喜苑・仏舍利塔にて法楽をあげる



柴燈大護摩供では、先達と参加者が一体となって般若心経が唱えられる

大自然を修行道場とする実践行 第六日(土)〜七日(日) 信徒峰中修行会

六月六日、七日の二日間に渡り、高尾山信徒峰中修行会が行われました。

当日は山麓不動院に集合し、男女に分かれてそれぞれ蛇滝と琵琶滝まで回峰行を行い、滝行を修しました。

滝行後は山上を目指し出立、有喜苑・仏舍利塔前にて男女が合流した後、参籠所である大本坊に到着、続いて大本堂にて千巻経、夕食後には月輪観を行い、翌日に備えて就寝されました。

翌日は五時半からの早朝御護摩供に参加し、朝食の後、般若心経を丁寧に書き写す写経を行い、その後、田中照寛先生による法話、「理系坊主が見た仏教」を聴聞されました。

昼食の後、山麓まで回峰行を行い、下山の後、柴燈大護摩供が厳修され、不動院に移動して解散し、参加の皆様が無魔成満されました。



一文字ずつ心を込めて写経をする



田中照寛先生による法話、「理系坊主が見た仏教」